

ガーベラの養液栽培では濃度に注意する

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

花き - その他宿根草 - 施肥法
分類コード 05-27-13000000

2 担当者

大河内栄・鈴木安和

3 要旨

ガーベラのロックウール(エアーリッチカンエキ方式)栽培では、低濃度の養液管理を続けると生育及び収量・切り花品質に影響が現れるため、適切な養液濃度での管理が必要である。

- (1) 葉数・草高は品種間差はあるものの総じて低濃度区の生育が低調であった。
- (2) 葉色は、栽培期間を通して低濃度区が淡くなった。
- (3) 切り花長・切り花重・花重については低濃度の生育が劣った。
- (4) 試験範囲の濃度では、濃度を高くすると収穫本数が増加した。

区の濃度	7・8・9月EC	10・11月EC
低濃度	0.593mS/cm	1.124mS/cm
中濃度	0.642mS/cm	1.297mS/cm
高濃度	0.780mS/cm	1.484mS/cm

4 その他の資料等

なし